

<http://j.mp/pdTnZ0>

フコイダン療法は、九州大学で研究され、多くの医師が実践している代替療法で、今、代替医療の中で盛んに行われている物のひとつ。がん細胞をアポトーシス(自然消滅)に追い込む、従来とは異なる最新の理論が特徴。また、抗がん剤や放射線の副作用を抑える働きも強く、この抑える働きを期待して使用している人も多い。 <http://j.mp/pdTnZ0>

がん患者は、時間的余裕がないため、抗がん剤中や代替療法中でも違う方法も試してみたいという気持ちから、併用している人が多い。容易に始められるのも喜ばれています。

免疫療法とも、免疫力向上とアポトーシスの相乗作用を期待して併用している例も多数。現時点で大きな副作用報告はありません。 <http://j.mp/pdTnZ0>

フコイダン療法がよく使われている病名 脳腫瘍(神経膠腫、悪性星細胞腫、膠芽腫、髄芽腫、髄膜腫)、胃がん、食道がん、大腸がん、口腔がん、喉頭がん、咽頭がん、スキルス胃がん、すい臓がん、乳がん、子宮がん、子宮頸がん、肺がん、舌がん、腎臓がん、皮膚がん、

直腸がん、前立腺がん、胆管がん、肝臓がん、甲状腺がん、膀胱がん、卵巣がん、肝細胞がん、骨髄腫、リンパ腫、悪性リンパ腫、

白血病、急性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、肉腫、骨肉腫 <http://j.mp/pdTnZ0>